

一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。



五和会 成田 克子

問 本市では新型コロナウイルス感染症予防対策について広報等により情報提供し、注意喚起しているが、高齢者にも分かりやすいようにイラスト入りのチラシなど配布できないか。

【福祉部長】

答 今年2月下旬より新型コロナウイルスウィルス感染症の対応と対策について毎戸チラシの配布や広報への掲載を行っており、特にホームページでは随時、関連情報を更新しています。新型コロナウイルス感染症については対策など日々状況が変化しているため、高齢者の方々にも配慮した分かりやすいチラシを配布しなければならぬと考えています。

問 家庭内感染が増加している現状から、家庭内における検温を推奨するために毎戸に体温計を配布してどうか。

【福祉部長】

答 日頃から家庭内の検温は健康管理に努める観点から本市として

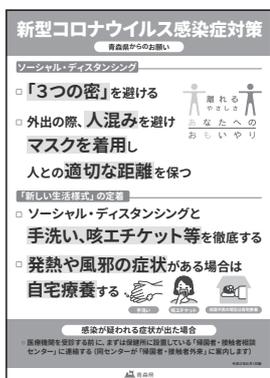
●高齢者にも分かりやすい新型コロナウイルス対策チラシを特別定額給付金の未申請の対応は

も推奨したい考えです。しかし、体温計は各家庭において常備していると思われるため、体温計の毎戸配布の実施は難しいと考えています。

問 特別定額給付金の未申請者の対応は。

【総務部長】

答 本市では未申請者に対し、ホームページ等により申請を勧奨したほか、未申請148世帯の方へ勧奨通知を発送しました。また、居所不明者について情報収集し居住先を調査したほか、未申請世帯への自宅訪問を実施した結果、給付対象者3万1741人に対し、受給者は3万1687人となり、給付率は99.8%でした。



五和会 木村 良博

問 新型コロナウイルスが及ぼす農業への影響にはどのようなものがあるか。

【経済部長】

答 野菜については新型コロナウイルスに加え全国の他産地において記録的な低温、長雨等により品薄となり、ほとんどの品目が高値傾向にあります。リンゴも早生種の価格が高騰し、今後の主力品種の状況を見ていくこととなります。米については来年6月末の民間在庫量が適正水準を上回る見通しであるほか、新型コロナウイルスの影響による外食需要の減少により令和2年産の米価が低下する可能性があります。

問 農家に対する市独自の支援策は考えているか。

【市長】

答 米価の低下が予想されている状況から、主食用米の販売農家に対し種子代の2分の1を補助する稲作農家支援事業を予定しています。

問 そのほか支援策は。

【経済部長】

●新型コロナウイルスによる農業対策は東京事務所の誘致活動状況は

答 国では経営維持の取り組みに対して補助する経営継続補助金や野菜・花き・果樹等について次期作に向けた各種取組を支援する高収益作物次期作支援交付金などがあります。

問 東京事務所での企業誘致の活動状況は。

【総務部長】

答 企業誘致業務等に関しては青森県東京事務所の指導のもと、企業訪問等のスキルアップに努めました。また、新型コロナウイルスの影響により従来の業務遂行が難しい状況にあります。

問 市の基幹産業である農業を活かした企業誘致を推進してはどうか。

【総務部長】

答 本市の農業の魅力をあらためて分析するほか、農業に関連した企業誘致を視野に受入基盤等を整備していくことが必要になってくると考えられます。なお、厳しい状況にはありますが、企業を一つでも誘致できるように努めていきたい考えです。

一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。



五和会 伊藤 良二

【市長】
 問 人口減少対策について市はどのように取り組んできたか。

【答】本市では人口減少克服に向け、活力ある地域を維持するため、農産物の販路拡大と情報発信の充実、移住定住、子どもを産み育てる環境の充実、働き盛り世代の健康づくりを推進してきました。これらの事業により、一定の成果は得られたものの、社会減、自然減について減少スピードが緩んでいないことから、今後は、

- ① 地域資源を活かした魅力ある仕事をつくる
- ② つがる市とのつながりを築き、新しい人との流れをつくる
- ③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

以上4つの基本目標を推進して人口減少のスピードをできる限り緩和したいと考えています。

●人口減少対策の効果と今後の取り組みは
 ●今後の新型コロナウイルス感染症対策は
 ●市の財政状況は

【経済部長】
 問 今後の新型コロナウイルス感染症対策は。

【答】本市ではこれまで実施した新型コロナウイルス対策事業の中で特に好評だった宿泊施設応援！市民限定！割引キャンペーン事業を再度実施したいと考えています。そのほか、全市民へ1人あたり7千円の商品券を配付して消費の喚起と地域経済の活性化を図りたいと思っております。

【財政部長】
 問 令和元年度の財政状況は。

【答】一般会計において、財政の健全性を判断する実質公債費比率は12.2%（前年度比0.2ポイント増）、将来負担比率は129.7%（10.1ポイント増）となっており、さらに、財政構造の弾力性を判断する経常収支比率は92.5%（2.1ポイント増）となっております。地方交付税等の減少により、数値は上昇していますが、健全な財政状況にあると考えています。



五和会 秋田 健幸

【総務部長】
 問 昨年6月定例会でも質問したが、牛瀨地区の危険な交差点への対応は。

【答】問題の交差点については、運転手に注意喚起を促すために破線および十字マークを設置し、一時停止標識を見やすい位置へ改良したほか、目視の妨げとなっている看板を撤去しました。今後も危険と思われる交差点については、警察等と協議し、安全対策に取り組んでいきます。

●安全に通行できるように
 積極的な道路整備を
 ●小規模のイベントに対し
 助成できないか

【建設部長】
 問 通行障害のある市道は道路パトロールや委託業者等によって対応していますが、短期間で枝が伸びるため、対応に苦慮しているところですが、今後は道路パトロールを強化して早期に対処し安全かつ快適な道路環境の維持に努めたいと考えています。ご提案の伐採の機械については市の維持作業に適しているかなど検討する必要があります。

【経済部長】
 問 下車力農道の改修工事の進捗状況は。

【答】農道下車力16号線の改修については、令和3年度の新規事業として採択され、工期は令和3年度からの6力年で延長距離が2.6km、総事業費は2億1300万円となっております。

【答】メロンロードにおいて木の枝が道路へ張り出し通行障害となっている。効率よく枝を伐採するため、大型トラクターに機械を装着

【総務部長】
 問 新型コロナウイルスの影響によりイベントが中止となっているが、感染対策をしながら行われる小規模なイベントに対して助成できないか。

【答】自治会等で開催するイベントに対して助成金はありませんが、自治会を対象に施設改修などに限定した自治組織活動助成事業があります。この事業にイベント等経費を加えることができるか検討します。

一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。



さいとう せいいち 齊藤 渡

問 ふるさと納税の実績は。また、人気のある返礼品は何か。

【総務部長】

答 ふるさと納税について、平成29年度は1289件で2248万円、平成30年度は1029件で1990万円、令和元年度は1845件で2843万円となっております。人気のある返礼品は上位から米、リンゴジュース、リンゴの順となっておりますほか、夏季はメロンも人気があります。昨年度からは黒にんにく、「果房メロン」とロマンのお食事券の人も高まっており、今後さらに、寄附者を増やすためにも魅力ある返礼品の開発創設は必要と考えています。

問 返礼品を「モノ」ではなく空き家管理やお墓代行サービスなどの「コト」で行うことは可能か。

【総務部長】

答 返礼品については品物に限らず空き家の見守りや庭の草刈り、お墓の代行サービスも可能と考えられます。

問 米価が下落した場合の減収を補う収入保険に加入している人は

ふるさと納税で

魅力的な返礼品を

コロナ禍における

農業の経済対策は

どのくらいか。

【経済部長】

答 青森県共済組合の資料によると水稲農家における収入保険加入者は237人で加入率は10.6%、**※ナラシ対策加入者は838人で37.6%となっており**、収入保険とナラシ対策を合わせて48.2%の人が加入しています。

問 市内数カ所に貯留庫を設けてもみ殻を有効活用しては。

【経済部長】

答 市が所有するもみ殻貯留庫は稲垣地区にあり、集められたもみ殻は畜産農家が牛舎の敷料としての活用や堆肥化するなどして有効活用しています。また、飼料用米の面積拡大によりもみ殻が減少しているため増設は考えていません。しかし、もみ殻は稲わら同様に焼却も見受けられるため、畜産への活用ならびに堆肥化など有効活用するよう働きかけていきます。

※ナラシ対策(米・畑作物の収入減少影響緩和交付金)：米価下落により収入が減少した場合に減収額の9割を補てん



ながわ けい 長谷川 榮子

問 旧木造町長、つがる市長として自らが掲げてきた政策は実現できたか。

【市長】

答 これまで木造町長1期と平成17年のつがる市誕生以来、市長として4期にわたり、みんなが安心して暮らせるつがる市を目指して地域経済の要である農業振興を最優先に捉え、人口減少と少子高齢化に対応した福祉の充実、さらには次代を担う子どもたちの教育の充実に取り組んできました。また、議員各位ならびに市民の皆様のご理解、ご協力をいただきながら様々な政策課題を解決しつつ、着実に前進しているものと感じています。

問 今後、より一層取り組みなければならぬ大きな課題は。

【市長】

答 農業振興と人口減少対策が最重要課題であると考えています。農業を取り巻く環境は従事者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の

次期市長選挙の出馬の意向は

増加など、多くの課題に直面しており、今後の農業情勢によっては離農する農家が増え、農村地域特有の集落維持すら難しくなると予想されるため、これまで以上に農業振興を推進していく必要があります。また、人口減少が続くと労働力の減少など経済的な影響だけではなく、まちの基盤や機能維持が困難となり、地域活動にも大きな影響を及ぼすものと考えています。これまでの施策において、一定の成果は得られたものの人口減少に歯止めがかかっていない状況にあるため、本年新たに策定した第2期地域活力創生総合戦略を推進し、引き続き市議会と連携しながら取り組むことが肝要であると考えています。

問 市長の進退は。

【市長】

答 昭和51年から長い間、皆様の協力を得て議会、行政に携わってきましたが、次期市長選挙には出馬しない考えです。